

令和6年度 河合小学校 学校安全ネットワーク連絡会議 まとめ

令和6年6月21日(金) 10:00~11:00 於 河合小学校図書館

1. 校長あいさつ

2. 自己紹介を兼ねて各担当地域の現状報告

- ピンクコース・緑コース高速道路を超える2つの橋(町谷橋・第六天橋)の通行は危険である。
- 生い茂った草が通学路に出ているため危険である。
- スクールゾーンの部分であっても、車が入ってくることもある。(スクールゾーンであることを知っているのかわからずに入ってくるのかは分からないが)
- 登校班の中でトラブル(低学年)があったり、1年生が歩くスピードが遅いことがあったりするため、登校の際、見守っている。
- 子どもたちは、大人が考えるより車の危険性を深く考えていないようだ。
- 下校時に不審者に遭遇した児童がいた。そういう時に「子ども避難所110番の家」に入ることをもっと周知した方がいい。

【学校より】

- ・何かあったら、迷わず「子ども避難所110番の家」に入ってください。子どもたちにも学校で指導します。それよりも…**危険な時は**その看板がない家にでも入って構いません。このあたりの確認については、学校・家庭の両方でしておくことにしましょう！
また、**不審者等に遭遇した際は、「迷わず・すぐに」110番通報**
→その後、学校へも連絡をお願いします。
- ・不審者等に遭わないようにすることはできないが、遭いづらくするために…学校では複数で下校するよう指導したり、各学年で下校時刻をそろえてできるだけたくさんの児童がまとまって帰るようにしたりしていく。

3. 現状と課題について(資料参照)

【現状】

- 防犯ボランティア、交通指導員、PTAの見守り等、たくさんの方に見守っていただいている。
- 通学路の整備を少しずつしていただいている。
→区役所をお願いしたことで排水溝の蓋の整備が行われた。
- 「ながら見守りボランティア」…42名登録(新1年生2名登録)
- 子ども避難所110番の家…28軒登録(昨年度末1軒辞退)

【課題】

- 登下校のコースは道が狭い箇所が多く、朝の通勤時には抜け道となって交通量が多い危険である。
- 脇から草や木が道路に出ている箇所もあり、児童がよけるために道の中央に出してしまうことがある。
- 子ども避難所110番の家の登録数、防犯ボランティア数どちらも減少傾向である。「高齢のため」が理由の1つとなっており、活動中の方もその点に不安を抱えている方も多い。

4. 防犯体制について（資料参照）

5. 学校安全ネットワーク 令和5年度振り返り

○ご協力いただいた方にお願ひした1年間の振り返り（資料参照）より

・多かった意見

児童が広がって歩いている、2列になっている、ふざけている、車道にはみ出している

→児童の歩き方について

自動車のスピード、自動車の接近、車の通行が多い、

→自動車（交通量）について

道路拡張、歩道の設置、雑草の伸び、通学路の安全性

→通学路の環境について

6. 防犯ボランティアリーダー 山崎様より指導講評

○たくさんの防犯ボランティアの方に協力いただけていることがありがたい。

○大人に対して、子どもから反応が返ってくることは信頼の証。

○「子どもに対する声かけ事案」について

・撮影行為…インカメラで自分を撮影しているふりをして背景にいる児童の写真や動画を撮影していることがある。

○資料から

「声かけ事案」傾向

・小中学生が78.8%

・女子対象が60.9%

・下校やどこかからの帰宅の際が55.8%

・15時台～17時台の発生が53.7%

・道路上の発生が72.0%

・単独行動時の発生が57.2%

○「声かけ事案」に対する子どもの行動

・走って逃げる ・断る ・無視 ・110番の家 ・助けを求める ・大声を出す など

※防犯ブザーは3年で電池が切れるので、家庭で確認をしないといざという時に鳴らないことがある。

○見守りとは（見守る姿勢）

警備するときは背面ですることが多い、見守りするときは対面が多い

→子どもたちの様子をよく見て行えるといい

○朝の家庭での見送りについて

「**気をつけてね!**」という言葉で見送ることが多い

子どもにとっては（特に低学年は）具体的に伝えることが安全面を守ることにつながる。

例)「車に気をつけてね」 「交差点でしっかり止まるんだよ」 「1列で歩くんだよ」